



アラスカ州の歴史や文化を紹介 もっと知りたいあの国「アメリカ合衆国」

平泉国際交流協会が主催する「もっと知りたいあの国第17章アメリカ合衆国」が11月21日に平泉文化遺産センターで開催されました。

今回は町国際交流員のスローン・サーミュエルさんが講師として、故郷アラスカ州の歴史や文化を紹介しました。会場に訪れた約30人の参加者は、日本との関わりや地域ごとに固有の文化を継承している先住民たちの紹介を聞きながら、アラスカ州の魅力への理解を深めました。



華麗な舞で観客を魅了 南部神楽鑑賞会

11月28日、県南から宮城県北の地域で神楽を伝承する4団体が参加し、平泉文化遺産センターで南部神楽鑑賞会を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症防止のため参加団体を減らし、観客も先着50人に限定して感染症の早期終息を祈願しての開催となりました。

町からは達谷窟昆沙門神楽が御神楽を披露。訪れた観客は、それぞれの団体ごとに特色のある神楽の華麗な舞に見入っていました。

かわいらしい発表に拍手 平泉保育所・幼稚園で発表会

11月28日に平泉保育所と幼稚園の発表会が開催されました。感染症対策のため学年ごとにプログラムを構成し、観賞する保護者の入れ替えを行いながら、ダンスや劇など10演目が披露されました。

保護者が見守る中、子どもたちはこれまでの練習の成果を元気いっぱいに披露。色とりどりの衣装を身に付けて踊ったり、元気に歌う子どもたちのかわいらしい発表に、保護者から大きな拍手が送られていました。



心健やかに生きるためには 第3回ひらいずみココロフェスタ

誰もが自分の心と上手に付き合い、互いを尊重し支え合うまちを目指すため、ココロフェスタが12月2日に役場で開催されました。イベントでは、傾聴ボランティアはあと会が寸劇を通して心に寄り添うための手順を紹介しました。

熊野三社宮司の小野仁志さん(13区)の講演では、神道の時間の流れに存在する「中今」を取り上げ、過去の後悔や未来への不安や孤独がある中で、今この瞬間を全力で生きることによって心の不安を消すことができるとお話がありました。



<レストラン> 1月の イチオシ! 道の駅平泉の オードブルセット

ご注文に合わせて作ります
ご注文に合わせて作ります
子ども会や地区行事にぴったりのオードブルセットを販売しています。町内の配達もしていますので、ぜひご利用ください。

■セット内容

▷オードブル(唐揚げ、焼き鳥、マリネ、刺身など)▷サラダ▷のり巻きなど

■ご注文

ご注文は完全予約制です。希望する日の1週間前までに予約をしてください。
※レストランの都合により予約ができない日もありますのでご了承ください。

■販売価格

3,000円(税込み)からご注文内容により価格が変わりますので、お問い合わせください。



5人盛りセット5,000円(税込み)

知っとう♪ 行っとう♪ 道の駅平泉 得情報

■問い合わせ先…道の駅平泉 ☎48-4795



【産直売り場 1月のお薦め品】
■プチベール
プチベールは、芽キャベツとケールの交配種で栄養価が高い野菜です。気温が寒くなると糖度が上がり、これからの季節に旬を迎えます。
道の駅平泉で、昨年からはプチベールを出荷している1区の内藤まき子さん。昨年6月からプチベール栽培を始め「見たこともない野菜でしたので、栽培方法を調べたり、手探り状態で栽培しましたが収穫できて良かったです」と話します。
内藤さんに「苦みがないので、サラダや青汁にしても食べられます。型が崩れにくいので、てんぷらやおひたしにしてもおいしいです。ぜひ一度ご賞味ください」と話してくれました。
■販売時期：12月〜3月頃まで

寄稿 ふるさと平泉会から



新型コロナウイルス禍の 東京で故郷を思う

ふるさと平泉会会長の西村です。嬉しいことに、最近少しづつではありますが会員が増えて来ております。これもふるさと平泉を思う皆さまの強い思いと幹事さまの熱心な声掛けによるものと思われまます。
昨年、令和2年は新型コロナウイルスに明け暮れた日々でした。そのため、ふるさと平泉町でも、平成30年には私が「源義経公東下り行列」において秀衡公を務めさせていただいた春の藤原まつりを始め、多くの行事の中止が余儀なくされたところと伺っております。私どもも帰ることもできず、誠に残念なことでした。

さて、本年は「平泉くも国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」の世界遺産登録10周年の記念の年です。心からお祝いを申し上げたいと思います。各種の記念行事が催されると思いますが、ふるさと平泉会も丁度結成30周年を迎え、ともに記念の年でもあり、できるだけの応援をしたいと考えております。そして、時々、ふるさとへ帰省し、中尊寺の金色堂や毛越寺の庭園を巡りながら、故郷の古い良き友と語り合いたいたいところです。

街の人口動態を見ますと、近年は、自然動態も社会動態も、減少が続いています。あまり喜ばないことではあります。この社会減が、最初に申し上げたふるさと平泉会の会員増にも繋がっているのかも知れません。とはいえ、ふるさとの子どもが増え、さらに活気の漲る町になって欲しいと思いつつ、東京に出てきた昔を思い出している今日この頃です。

文責：ふるさと平泉会 会長 西村専次